

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

整理番号 107	提案機関名 神奈川県内水面養殖業者協議会
要望問題名 アユのボケ病の迅速診断技術及び治療技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、養殖アユにおいて、不活発な遊泳や食欲の低下および突然の大量死を示す「ボケ」と呼ばれる病気が発生しています。この病気は細菌性鰓病と類似の症状を示すため、養殖場での判断が難しく、診断には組織標本の作製等に時間を要するため、迅速な初期対応が出来ません。また、有効な治療法も確立されておられません。このような状況の中、本県では平成19年に始めて発生が確認された後、毎年発生しており、今後被害の拡大が懸念されます。これらのことから、ボケ病の迅速診断技術及び治療技術の開発を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 水産動物保健対策事業		
対応の内容等	11県で構成するアユの疾病研究部会に参加し、関係機関と連携してボケ病の迅速診断技術及び治療技術の開発に取り組んでおり、これまでに、ボケ病魚の鰓上皮組織に特有の異型細胞を簡易染色（DQ 染色）によって検出する技術が開発されております。今後、DQ 染色の実用性について検討を行います。また、治療については、治療事例を収集して、有効な餌止め時期や期間、塩分濃度や処理時間等について明らかではないことから、治療事例を収集して有効な治療法について検討を行います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			